

# 校歌 永遠の幸

(札幌農学校校歌)

大和田建樹氏 校閲

有島武朗君 作歌

納所弁次郎君 作曲

一  
永遠とこしへの幸さち朽くちぎる 譽ほまれ  
つねに我等われらがうへにあれ  
よるひる育そだてあけれ教おしへ  
人ひととなしし我庭わがにわに

二  
北斗ほくとをつかんだかき希望のぞみは  
時代ときを照てらす光ひかりなり  
深雪みゆきを凌しのぐ潔きよき節操みさおは  
国くにを守る力ちからなり  
(※繰り返し)

三  
山やまは裂さくとも海うみはあすとも  
真理しんり正義せいぎおつべしや  
不朽ふきゆうを求め意気いき相あゆるす  
我等われら丈夫ますらわ此こにあり  
(※繰り返し)

(※)

イザイザイザ  
うちつれて進すすむは今いまぞ  
豊平とよひらの川かわ尽つきせぬながれ  
友ともたれ永ながく友ともたれ

(注 有島武郎在学中の明治三十三年の作。)

大和田建樹(二八五六・一九一〇)は作詞の面で、  
納所弁次郎(二八六五・一九三六)は作曲の面で、  
共に近代日本唱歌史に大きな足跡を残した。)